

## 令和4年度 園評価・自己評価結果公表シート

標記の事について、次のとおり報告します。

若桜町立 わかさこども園  
園長 小林 宏美

### 1. 令和4年度教育・保育目標について

令和4年度は次の教育・保育目標3点、重点目標1点を掲げ、子ども自らが目の前の遊びに取り組み、試行錯誤しながら出来た経験を重ね、自分でできる、できたという自信を持たせることで、さらに様々な事に意欲的に取り組み、いきいきとした園生活を過ごすことができる子どもにつながるよう一年を通して取り組んできた。

◎令和4年度教育・保育目標

- 明るく元気な子ども
- 仲間とつながる子ども
- 自分で考えすすんで行動する子ども

◎令和4年度保育の重点目標

- 主体的に遊ぶことができる環境の工夫や保育の展開の充実

### 2. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 学級経営 (研究・研修)について	<p>*ねらいを達成するために、子どもの実態、興味や関心を捉えて各年齢の計画立案に反映した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一人ひとりの子どものありのままを受け入れ、安心した環境や信頼関係の中で生活できるように心がけている。</li><li>・保育・教育の質の向上に向けた保育研修は、オンデマンド研修が多かったが、職員全員が園内で研修を受けることができ、共通理解につながった。</li><li>・外部研修指導や県の園訪問指導を年間を通して実施でき、園内研修の充実を図ることができた。</li><li>・今年度の新たな取り組みとして、園内の公開保育を行い、指導案に基づいた他のクラスの保育を見合うことで自分の保育の振り返りや学びにつながった。また、園児全体の育ちの確認へつながった。</li><li>・コロナウイルス対策で玄関での受け渡しを行っているが、園内での様子は日々の連絡帳や担任が直接玄関の対応をしている。</li><li>・保護者の日頃の悩みに適宜応じている。また、個人懇談、希望懇談、クラス懇談会もコロナウイルス対策を講じ年間各1回実施できた。</li></ul>

<p>② 保護者支援の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本的な生活習慣については、個々の状況に合わせて家庭と連携をとることを心がけた。また、家庭の実態把握として学園と共同の取り組み「ハッピーすこやか週間」を年間計画に位置づけ、連絡会などで情報共有や相談体制を行った。</li> <li>• 食育活動では、コロナウイルス特別警報発令に伴い、菜園で収穫したものを利用してのクッキング活動は出来なかった。しかし開催時期の変更や、社会状況等に合わせて衛生面やコロナ対策に十分に考慮して、開催できた取り組みもあった。</li> <li>• 戸外遊びの充実は園庭利用を季節ごとに考えて、それぞれの年齢で十分な時間を確保し、取り組めた。</li> </ul> <p>* 特別支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 特別に支援のいる子どもに対しては、支援会議を設け、その園児の状態を全職員で共有した。クラスの中で気になる子どもに対しては、園内会議等で職員間の共通理解を行い支援方法を検討した。また、保護者理解のもと、専門機関や、関係機関、医療機関と連携を図り、共に支援方法の課題解決に向けて関わることができた。</li> </ul> <p>* 家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 今年度から、マチコミメールのタイムラインを活用し園内での子どもの様子や園行事、毎月のクラス便り、新型コロナウイルスに関する情報などを細かく配信することにより、保護者の安心感につながるよう心がけた。</li> <li>• 年間行事予定表の配布により保護者の方もお休みを計画的にとられ、参観日等も感染防止対策を講じ、分散開催を行ったことで参加率が高かった。</li> <li>• 保護者講演会では、園児の遊びの場面の写真を使い、子どもは遊びを通して多くの学びがあること、子どもの遊びの重要性を理解してもらうとともに、クラス懇談で子ども達の育ちや発達を理解していただく場を設定した。園と家庭が共通理解の大切さを確認できた。</li> <li>• 子ども一人ひとりの園での姿や変化を保育者が敏感に受け止め、その原因はどこからくるのか、家庭の背景等も探りながら、保護者に様子を伝えていった。職員の中には、子育てに大切なことは何か、園での気付きを保護者に伝え共に考え、解決に向かい、保護者に寄り添っていく姿勢を持つことが不十分な職員もあった。</li> </ul> <p>* 地域の子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子育て世代の方が誰でも利用できる施設環境は整っているが、</li> </ul>
-------------------	---

<p>③ 施設・整備・運営 (保健・安全) について</p>	<p>現在は、支援センター利用の該当者の未就園児が少なくなっている。また、新型コロナウイルスによる事業の中止に伴い、個別での利用が主となった。</p> <p>今後は地域の子育ての拠点施設として利用しやすい施設にしていきたい。</p> <p>*健康・安全体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全管理マニュアル(安全計画)を基本に運営するとともにヒヤリハット事例等は職員間で共有、記録を残し、安全管理に努めている。しかし、日頃各自で点検する安全チェックシート等でも確認していく必要があると感じた。今年度も続いたコロナウイルスの対策は、感染状況に応じて変わっていく対処法を職員で確認し、家庭の協力を得ながら感染防止に努めた。また、感染状況については、保護者への文書、玄関掲示、マチコミメール配信等に対応した。</li> </ul> <p>*運営・管理・社会的責任</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの最善の利益を保障する保育実践を積み重ねていくことを基本とし、一人ひとりに寄り添う対応をした。</li> <li>園内外の遊具、施設等の安全点検を日々行い、安心できる環境、運営管理に努める事ができた。</li> </ul>
------------------------------------	--

### 3. 今後に向けて

<p>・今年度の評価・反省・課題等を職員間で共有し、新年度に向けて、どのような取り組みをしていくのかを明確にし、計画的に実施していく。また、保護者会事業での保護者同士のつながり、地域のこども園として、地域の方との交流などの取り組みを実践していく。目指す子どもの姿となる保育・教育を充実させていくため園内研修の検討や保育・教育の質の向上に努めていきたい。また、職員の自己評価が園全体の自己評価につながっていくので、日々保育を振り返り、研修を行うことが大切であり、保育者一人ひとりが専門性を高め、園全体の保育・教育の質の向上に今後も努めていきたいと考えている。</p>
--

### 4. こども園関係者評価委員の評価

評価項目	評価
<p>教育・保育内容全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育・保育目標や目指すこども像に近づく取り組みがなされているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標など年々手を加えながら実に合ったものになっているように感じた。</li> <li>教育・保育目標はホームページでも公開されており、それに向かった取り組みをされていたと思うが、今年度の研究主題は、園だより等で明示されていないので、こちらの点は評価が出来なかった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上はOJTによるところが大きいと思う。 (OJT…先輩職員が後輩職員に対し、業務に必要な知識やスキルを実践しながら伝承する方法)</li> <li>・研究結果、取り組みといったものが、目に見えて分かりにくいいため、報告などもっと分かりやすい方がよい。町と話し合い、少しずつでよいので、独自性を磨いてほしい。</li> <li>・主体的に遊べる子どもを目標としていて、どう評価してよいのか分からない。遊びとは？クラスの年齢によっても様々だと思う。具体的に出てきたら分かりやすいと思う。</li> </ul>
<p>子どもについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気でいきいきとした姿で過ごしているか</li> <li>・情緒も安定し、表情豊かに過ごしているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家で友だちの事も楽しそうに話してくれる。</li> <li>・コロナもあり、子ども達もいろいろ自由に元気にといい姿でのびのびとしくい状況だったと思う。</li> <li>・これから通常に戻り、いきいきとした子ども達の姿を見たい。</li> <li>・保護者アンケートの肯定的評価の高さや自由記載の内容から、子ども達の元気でいきいきと生活している姿が想像されます。</li> <li>・園での様子を見るかぎり、声も出て子どもらしく生き生きとされていたように感じた。一年を通して個々それぞれが成長されていたように思う。</li> </ul>
<p>教職員について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに愛情と誠意をもって接しているか</li> <li>・子ども一人ひとりの良さを引き出そうとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達への思いを職員同士で語り合える雰囲気づくりをしていく事は、大切な事だと思う。</li> <li>・担任の先生は元気に迎えてくれて、悪いことはしかってくれていると思います。</li> <li>・愛情と誠意をもって接しているのだと思うが、一人ひとりに合わせた対応をもっと取っていくべきだと思う。また、先生方ももっとアップデートしていき、園全体としてレベルアップして欲しい。</li> <li>・子ども達への声かけや支援について、子どもの気持ちに寄り添われていた言葉であったように感じた。</li> </ul>
<p>地域・保護者との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や保護者から親しみやすい園だと感じられているか。</li> <li>・地域や保護者と連携がとれているかどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の保護者とは密につながっていると思う。うまくできない保護者とどうつながっていくのが課題。</li> <li>・コロナの状況により十分な連携が取れなかったと思うが、可能な範囲での対応に尽力されていたと思う。</li> <li>・保護者とは参観日、懇談会でコミュニケーションを取られていると思いますが、親子遠足中止、運動会の短縮などコロナの影響が続いている。来年度以降は、アフターコロナ</li> </ul>

	<p>で保護者との連携を深めていってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育や運営に対するアンケートの中に「子どもをこのこども園に通わせてよかった」の項目で A63%、B30%は大きな成果だと思う。</li> <li>• コロナの影響もありイベントが少なかったため、地域の人との連携がなかったが、来年度は連携していってほしいと思う。</li> </ul>
<p>安全管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 園の安全計画に沿って、安心、安全に子ども達が過ごさせているか。</li> <li>• 家庭との連携を図っているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コロナへの対応はしっかりして頂いたかと思うが、報告なり園児の兄弟のいる学園との情報共有などがなく、不安を感じる部分もあった。</li> <li>• 安全である事は何より優先される。危機管理に関する共通理解は大切だと思う。</li> <li>• 安全管理マニュアルを各クラスに掲示してあるとのことで大きな怪我はなかったのではないと思う。コロナウイルスに限らず、様々な感染症に対してもマチコミ等での連絡といった初動の早さを今後も継続してもらいたい。</li> <li>• コロナ以外の感染対策でも、町民課とも連携してわかさこども園としてのガイドラインを作成して、保護者に共有してそれに則ってやっていけば良いと思う。</li> </ul>
<p>★その他の御意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 来年度よりコロナウイルス感染症が5類に引き下げられるということで、様々な行事も積極的に開催できるという期待の反面、リスクの面にも注意が必要かと思う。検討事項も多く大変かと思うが、宜しく願いしたい。</li> </ul>	